

## 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもたちの生きる力育成事業
事業主体 (連絡先)	そらいろのたね 05036345939 <a href="mailto:sora.tane3@gmail.com">sora.tane3@gmail.com</a>
事業区分	教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	498,972 円 (うち支援金: 358,000 円)

### 事業内容

子どもの生きる力の育成を目的とし、生きていく上で必須の学びとして「コミュニケーション力」と「いのちと性の学習」に注目し、親子講座・親育ち講座を開催した。

1. コミュニケーション力トレーニング講座 (3回)  
「ことばキャンプ」幼児・小学生親子向け
2. いのちと性の学習  
(1) 子ども向け「人形劇で学ぶいのちと性」  
(2) 親向け「親のための生と性の講座」(2回)



【ことばキャンプ  
小学生向け講座の様子】

### 事業効果

- ① 事業1ではのべ74組148人にことばキャンプを届けた。複数回受講した小学生へのアンケートでは11人中9人が「質問に答える」「みんなの前で話す」の項目について「受講前よりも自信がついた・上手になった」と回答し、有効性が確認できた。内気な子の受講が多く早期に定員に達し、高いニーズを示した。
- ② 事業2(1)人形劇に24組81人の参加があった。「家庭でからだや性の問題について話し合えるようになった」との感想が複数寄せられ、性に関する家庭教育を支援できた。
- ③ 事業2(2)にのべ103人と想定以上の多数の参加があり、親たちの思春期への不安や性に関する家庭教育の悩み・迷いなどの親のニーズに応えられた。性については親世代も学習機会の乏しかった領域であるからこそ、学習機会を提供できた意義は大きいと考えられる。
- ④ 事業1ではコミュニケーション力が高まったと同時に自信がついたという感想が寄せられた。事業2(1)により、「命はくらべられない」「ひとりひとりちがっていいんだ」と学び、ありのままの自分を大切に思える力の育成の一助となったと考えられる。

### 【目標・ねらい】

- ① コミュニケーション力育成 (親子)
- ② 肯定的な「からだ観」育成と安全教育 (子ども)
- ③ 思春期の子を支える力の向上 (親育ち)
- ④ 子どもの自己肯定感の育成

### ※自己評価【 A 】

【理由】  
予想を上回る参加者数であり、ニーズに応えると同時にその必要性に関する啓発にもなった。

### 今後の取り組み

- 生きる力と自己肯定感の育成のための子育て講座・親育ち講座をより多くの親子に届ける。
- コミュニケーション力トレーニング講座を開催できる人材の育成を行い、長野県で継続的に提供できる体制づくりを行う。
- 思春期の支え手となる大人を増やすための講座を開催する。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある